

日本マイクロ・ナノバブル学会第3回学術総会参加者アンケート中間報告

(無記名式 2015年1月15日現在)

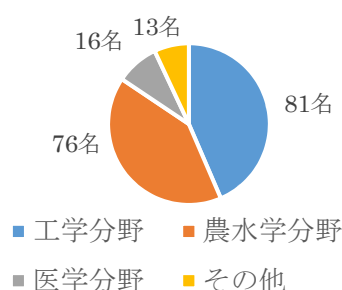
第3回学術総会（2014年12月7日開催）にご参加いただいた皆様にはアンケートのご協力をお願いしております。2015年1月15日現在、アンケート対象者186名中28名の皆様からご回答を頂いており、心より御礼申し上げます。集計結果（中間）を以下のとおり、ご報告いたします。

調査方法：WEBアンケートシステムで実施中 <http://mnbsc.jp/?p=2212>

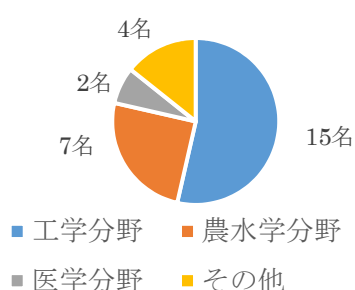
ご回答いただいたアンケートの結果について、真摯に受け止め、当会が主催して開催する学術総会・各種セミナーの内容を充実し、運営の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。尚、アンケートは2015年1月31日まで実施しておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

■アンケート対象者186名（回答数28名）

アンケート対象者の分野別

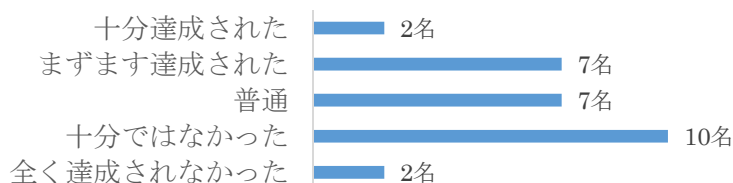


アンケート回答者の分野別



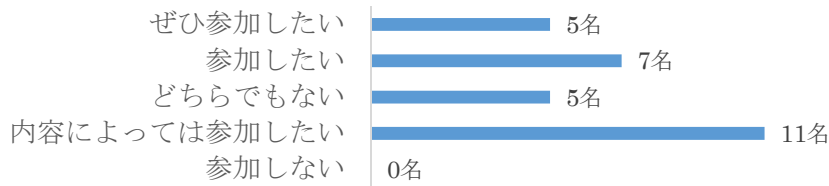
| 分野別（対象者の属性） | 工学 | 農水学 | 医学 | その他 | 計 |
|-------------|-------|------|-------|-------|-------|
| アンケート対象者数 | 81名 | 76名 | 16名 | 13名 | 186名 |
| 回答者数 | 15名 | 7名 | 2名 | 4名 | 28名 |
| 回答率 | 18.5% | 9.2% | 12.5% | 30.8% | 15.1% |

■Q1 参加の目的・期待は達成されましたか



| | 工学 | 農水学 | 医学 | その他 | 計 |
|------------|-----|-----|----|-----|-----|
| 十分達成された | 1名 | 1名 | | | 2名 |
| まあまあ達成された | 3名 | 1名 | 2名 | 1名 | 7名 |
| 普通 | 3名 | 3名 | | 1名 | 7名 |
| 十分ではなかった | 7名 | 2名 | | 1名 | 10名 |
| 全く達成されなかった | 1名 | 1名 | | | 2名 |
| 計 | 15名 | 7名 | 2名 | 4名 | 28名 |

■Q2 今後も当学会の学術総会・各種セミナーに参加したいと思いますか

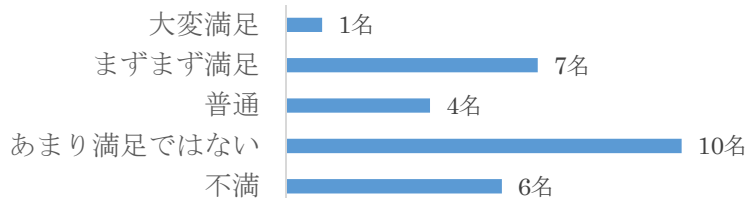


| | 工学 | 農学 | 医学 | その他 | 計 |
|--------------|-----|----|----|-----|-----|
| ぜひ参加したい | 1名 | 2名 | 1名 | 1名 | 5名 |
| 参加したい | 2名 | 4名 | | 1名 | 7名 |
| どちらでもない | 3名 | 1名 | 1名 | | 5名 |
| 内容によっては参加したい | 9名 | | | 2名 | 11名 |
| 参加しない | | | | | |
| 計 | 15名 | 7名 | 2名 | 4名 | 28名 |

ぜひ参加したいと回答した理由

- ① ナノバブルのメカニズム解明を期待しているため。
- ② 会員として最新動向を把握できるから。
- ③ 農業を始めとして、環境中での使用方法についての参考にしたい。
- ④ 自社製造工程への応用を検討中。

■Q3 プログラム構成（全体）についてお尋ねします

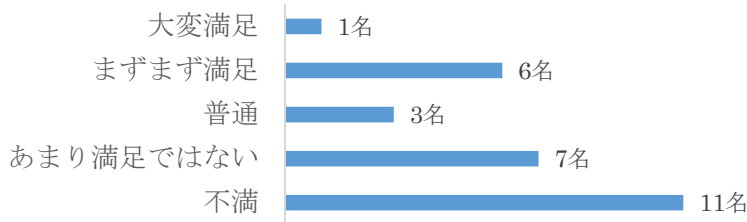


| | 工学 | 農水学 | 医学 | その他 | 計 |
|-----------|-----|-----|----|-----|-----|
| 大変満足 | 1名 | | | | 1名 |
| まずまず満足 | 1名 | 2名 | 2名 | 2名 | 7名 |
| 普通 | 1名 | 1名 | | 2名 | 4名 |
| あまり満足ではない | 7名 | 3名 | | | 10名 |
| 不満 | 5名 | 1名 | | | 6名 |
| 計 | 15名 | 7名 | 2名 | 4名 | 28名 |

あまり満足ではない・不満と回答した理由

- ① 技術の基礎を担う工学分野の発表が少なかった。
- ② ナノバブルの存在確認方法に関する議論が見えなかった。

■Q4 時間配分（発表者）についてお尋ねします

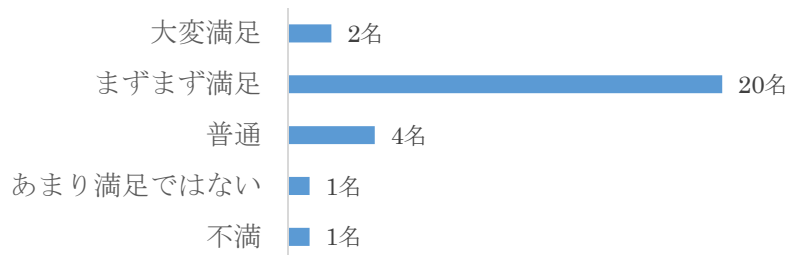


| | 工学 | 農水学 | 医学 | その他 | 計 |
|-----------|-----|-----|----|-----|-----|
| 大変満足 | 1名 | | | | 1名 |
| まずまず満足 | | 2名 | 2名 | 2名 | 6名 |
| 普通 | | 2名 | | 1名 | 3名 |
| あまり満足ではない | 5名 | 1名 | | 1名 | 7名 |
| 不満 | 9名 | 2名 | | | 11名 |
| 計 | 15名 | 7名 | 2名 | 4名 | 28名 |

あまり満足ではない・不満と回答した理由（18名中7名）

- ① 発表時間が短く内容について十分理解できなかった。
- ② 発表が多いのは良いが、個々の発表時間が短い反面無駄な時間が多い。
- ③ 1人当たりの時間が短い。テーマを厳選し、数を減らすべき。
- ④ 無駄な時間を減らして発表者の持ち時間を長くして欲しい。
- ⑤ 発表時間が短く理解できないことが多かった。
- ⑥ 個々の発表時間が短く理解できないことが多かった。
- ⑦ もう少し発表者の時間があっても良いと思いました。

■Q5 事務局対応（会費・時間帯・進行方法など）についてお聞かせください



| | 工学 | 農水学 | 医学 | その他 | 計 |
|-----------|-----|-----|----|-----|-----|
| 大変満足 | 1名 | | | 1名 | 2名 |
| まずまず満足 | 11名 | 5名 | 2名 | 2名 | 20名 |
| 普通 | 3名 | 1名 | | | 4名 |
| あまり満足ではない | | | | 1名 | 1名 |
| 不満 | | 1名 | | | 1名 |
| 計 | 15名 | 7名 | 2名 | 4名 | 28名 |

不満と回答した理由（1名中1名）

① 案内を受付時間が、受付準備開始時間で30分遅れた（原因調査中）

■Q6 参加される皆様の満足度を高めるため、アイデアがありましたらお聞かせください

回を重ねる毎に内容が多岐にわたり充実しています、1日では消化しきれませんでした。
会期を2日間にしてください。

■Q7 興味のある分野（担当分野を含む）

| 工学 | 農水学 | 医学 | その他 | 計 |
|-----|-----|----|-----|-----|
| 13名 | 10名 | 3名 | 2名 | 28名 |

具体的な興味の対象（担当する分野）

- ① 養殖や農業での使用方法を知りたい。
- ② 大豆の洗浄、殺菌を想定して参加している。
- ③ 植物栽培における効果。
- ④ 無農薬、無化学肥料化、加工品無添加。
- ⑤ 電気/電子。
- ⑥ 食品。
- ⑦ 植物/水産物育成。

■Q8 その他どのようなことでも結構です。ご意見・ご感想・ご提案をお寄せください

一般演題は興味深い発表が多いものの、時間が短すぎる。又、三部会毎の基調講演でナノバブルの発生メカニズム、応用、理論をお願いしたい。

マイクロ・ナノバブルの最新研究情報や応用事例に期待していたが、発表時間が短いため、理解できないところが多かった。

学術総会は企業色の無い、研究者間の発表・意見交換・交流の場とし、企業色が出るものは企業主体の場を別途に用意したほうが良いと思います。

今後の具体的な方向性とエビデンスに拘った事に大変良いことだと思いました。従来より活気があり医学、農水学、工学などメリハリがあり非常に良かったです。

初学者にも分かる講義のようなセッションがあっても良いと感じた。

個人会員の名簿を作成しては。また、総会参加者名簿も作成しては。

是非、九州大学でナノバブルの映像で確認したい。

ナノサイズのバブルがきちんと作られているメーカーを教えてください

- ・1日1会場で実施されるところが良い（マイクロ・ナノバブルという共通キーワードで様々な話や議論を聞くことができるので）。
- ・平日開催でないところが良い（都合をつけやすいので）。
- ・ランチョンセミナーで弁当が配布され、これは1日で凝縮した内容を実施することを可能にしていると思うので続けて欲しい。

- ・発表者が懇親会無料というのもありがたい。
- ・東京開催なので企業が集まりやすく大会を盛り上げていると思う。
- ・医学、農学、工学に分野に分ける必要性をあまり感じない。マイクロ・ナノバブルの効果に着目すれば分野を横断しているものが多いので、たとえば殺菌や洗浄なら、医学にも農学にも工学にも共通する。
- ・全て1会場で開催されたので良かったが、仮に分野ごとに会場を分けるようになると共通する重要な部分が見えなくなる可能性があるので今後も1会場で実施されれば問題ないかもしれない。

今回の講演をお聞きすると、マイクロバブルが圧潰して、ナノバブルが生成し、その際エネルギーまたはイオンの放出・生成が自明のこととなっているとの心証を受けました。昨年までは、「想定される機構」であったのが、現在では「証明された機構」となっているのかと。

エビデンスを明確に解明していただけると、いろんな分野への応用が急速に広がると思われます。

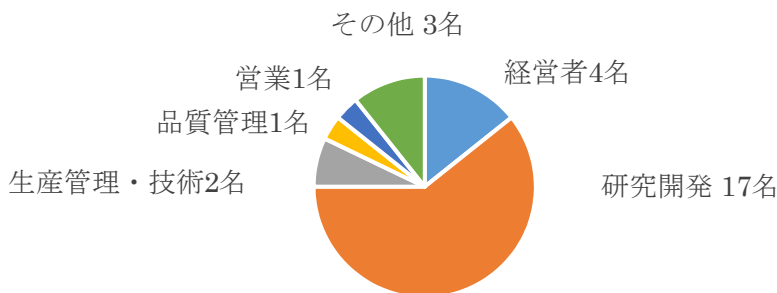
今後も明大駿河台での開催を望みます（便利）

東北大学未来研の本格的なナノバブル研究を期待しています。是非、工学部会のセミナーを開催してください。仙台開催でも参加します。

分類は応用分野別になっていて、メカニズム研究などの基礎研究を行う分野が必要と思います。

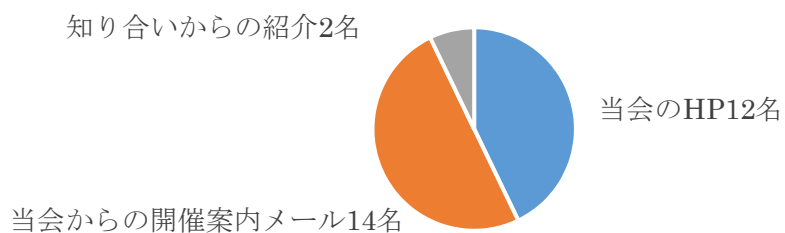
興味深い内容の成果報告・発表が多く参考になった。但し、ナノバブル技術に関する機序理論については発表者、主催者側共に無かったのは残念です。又、東北大学未来研の本格的な研究参画に期待します。

■Q9 回答者ご本人について



| | 団体職員 | | | | 企業 | | | | 大学/研究者 | | | |
|---------|------|----|----|---|-----|----|----|----|--------|---|---|---|
| | 工 | 農 | 医 | 他 | 工 | 農 | 医 | 他 | 工 | 農 | 医 | 他 |
| 経営者 | | | | | | | | 4名 | | | | |
| 研究開発 | | 1名 | 1名 | | 10名 | 4名 | | | 1名 | | | |
| 生産管理/技術 | | | | | 2名 | | | | | | | |
| 品質管理 | | | | | 1名 | | | | | | | |
| 営業 | | | | | | 1名 | | | | | | |
| その他 | | 1名 | | | | | 1名 | | 1名 | | | |
| 計 | | 2名 | 1名 | | 13名 | 5名 | 1名 | 4名 | 2名 | | | |

■Q10 第3回学術総会開催を何で知りましたか



| | 工学 | 農水学 | 医学 | その他 | 計 |
|--------------|-----|-----|----|-----|-----|
| 当会のホームページ | 7名 | 3名 | | 2名 | 12名 |
| 当会からの開催案内メール | 8名 | 4名 | | 2名 | 14名 |
| 所属先 | | | | | |
| 知り合いからの紹介 | | | 2名 | | 2名 |
| その他 | | | | | |
| 計 | 15名 | 7名 | 2名 | 4名 | 28名 |